

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 スーパー大栄
 コード番号 9819 URL <http://www.superdaiei.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 阪本 博美

TEL 093-602-2770

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	20,898	△5.3	△34	—	△63	—	△67	—
22年3月期第3四半期	22,061	△3.3	142	△51.5	117	△54.6	△56	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△9.70	—
22年3月期第3四半期	△8.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	11,900	3,407	28.6	473.41
22年3月期	10,695	3,439	32.2	495.61

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,407百万円 22年3月期 3,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	1.8	△20	—	△60	—	△100	—	△14.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 7,200,000株 22年3月期 7,200,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,074株 22年3月期 259,413株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 6,941,689株 22年3月期3Q 6,970,638株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
業績の推移	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、中国やインドなどの新興国を中心とした輸出に牽引され、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、急激な円高の進行や長引くデフレ経済の影響で雇用情勢や個人消費の改善には至らず、依然として景気は不透明な状況で推移いたしました。

一方、小売業界におきましては、消費者の低価格志向が定着してきたため、企業間の価格競争が以前にも増して激しくなり消耗戦の様相が続いております。

このような状況の中、当社はお客様の低価格志向に対応するため、ディスカウントストア部門の「サンディ事業部」を新設いたしました。第1号店は平成22年9月に既存店の大橋店を「サンディ行橋店」に業態転換いたしました。さらに、平成22年11月、既存店の管松店を生鮮強化型の「サンディ管松店」に業態転換し集客力アップを図りました。

また、鮮ど市場事業部におきましては、平成22年10月、既存店の稲築店を鮮ど市場店舗としては12店舗目の「鮮ど市場稲築店」に業態転換し、売上倍増を図りました。

しかしながら、競合店同士の熾烈な価格競争の影響や、例年のない異常気象と長引く消費不況で集客力が低下し、売上高は大きく予想を下回りました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は20,898百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業損益は34百万円の営業損失（前年同四半期は142百万円の営業利益）、経常損益は63百万円の経常損失（前年同四半期は117百万円の経常利益）となり、四半期純損益は固定資産除却損などの特別損失26百万円や法人税等調整額△35百万円他の計上により67百万円の四半期純損失（前年同四半期は56百万円の四半期純損失）となりました。

なお、前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間の事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同四半期 増減率(%)
	(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品 ※1	12,233	55.5	11,643	55.7	△4.8
一般食品 ※2	7,770	35.2	7,207	34.5	△7.2
日用雑貨 ※2	662	3.0	642	3.1	△2.9
その他 ※3	1,110	5.0	1,135	5.4	2.3
計	21,775	98.7	20,628	98.7	△5.3
その他の事業 ※4	285	1.3	269	1.3	△5.5
合計	22,061	100.0	20,898	100.0	△5.3

(注) 1 小売業の生鮮食品部門は、低価格志向の定着化や天候不順に加え、生鮮ディスカウントの鮮ど市場店舗が集積する商圏内への競合店の出店で減収となりました。

2 小売業の一般食品部門及び日用雑貨部門は、低価格志向の定着化に加え天候不順が重なり減収となりました。

3 小売業のその他の部門は、酒の売上高が増加したことなどにより増収となりました。

4 その他の事業は、消費不況などにより外食利用のお客様が減少し減収となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末比1,204百万円増加し、11,900百万円となりました。

流動資産は、前期末比1,291百万円増加し、2,979百万円となりました。これは、年末が金融機関の休日であったため、買掛金の一部が翌月払となったことなどにより現金及び預金が1,176百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前期末比86百万円減少し、8,921百万円となりました。これは、SM3店舗の鮮ど市場店舗やサンディ店舗への業態変更など総額251百万円の設備投資を行ったものの、減価償却費254百万円の計上や、業態変更店舗に係る店舗閉鎖損失引当金の取崩等に伴う固定資産の除却38百万円などによります。

流動負債は、前期末比905百万円増加し、5,966百万円となりました。これは、短期借入金が385百万円減少したものの、年末が金融機関の休日であったため、買掛金の一部が翌月払となったことなどにより買掛金が1,263百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前期末比331百万円増加し、2,526百万円となりました。これは、長期借入金が372百万円増加したことなどによります。

純資産は、前期末比32百万円減少し、3,407百万円となりました。これは、四半期純損失67百万円を計上したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第3四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失△86百万円や減価償却費254百万円の計上に加え、たな卸資産の増加△84百万円、仕入債務の増加1,263百万円などにより1,372百万円となり、前年同四半期比では191百万円減少いたしました。これは、税引前四半期純損益や減損損失が前年同四半期比それぞれ△89百万円、△103百万円となったことなどによります。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出△159百万円などにより△161百万円となり、前年同四半期比では87百万円増加いたしました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出が前年同四半期比118百万円となったことや、敷金及び保証金の回収による収入が前年同四半期比△28百万円となったことなどによります。

さらに、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,027百万円や、短期借入金の純増減額△385百万円、長期借入金の返済による支出△720百万円などにより△33百万円となり、前年同四半期比では432百万円増加いたしました。これは、長期借入れによる収入が前年同四半期比627百万円となったことや、短期借入金の純増減額が前年同四半期比△315百万円となったことなどによります。

これらの結果、当第3四半期の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比1,176百万円増加して2,035百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月18日付「平成22年3月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました平成23年3月期の通期の業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、第2四半期会計期間末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、第2四半期累計期間において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ6,420千円増加し、税引前四半期純損失は9,080千円増加しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,035,817	859,186
売掛金	7,599	6,776
商品	793,719	711,607
その他	142,410	110,612
貸倒引当金	△69	△69
流動資産合計	2,979,478	1,688,114
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,507,576	3,562,244
土地	3,282,026	3,282,026
その他（純額）	716,300	708,130
有形固定資産合計	7,505,903	7,552,402
無形固定資産	99,193	99,902
投資その他の資産	1,315,959	1,355,442
固定資産合計	8,921,056	9,007,746
資産合計	11,900,535	10,695,861
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,782,150	1,518,287
短期借入金	1,600,000	1,985,000
1年内返済予定の長期借入金	705,000	770,000
未払法人税等	20,824	29,502
賞与引当金	17,000	77,000
ポイント引当金	14,038	15,105
店舗閉鎖損失引当金	3,191	34,050
その他	824,217	632,032
流動負債合計	5,966,421	5,060,977
固定負債		
長期借入金	1,335,000	963,000
退職給付引当金	721,803	725,371
役員退職慰労引当金	107,601	141,831
その他	362,115	364,795
固定負債合計	2,526,521	2,194,997
負債合計	8,492,942	7,255,975

（単位：千円）

	当第3四半期会計期間末 （平成22年12月31日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年3月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,697,019	1,714,551
利益剰余金	52,745	120,089
自己株式	△614	△79,414
株主資本合計	3,416,259	3,422,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,666	17,551
評価・換算差額等合計	△8,666	17,551
純資産合計	3,407,592	3,439,886
負債純資産合計	11,900,535	10,695,861

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	22,061,424	20,898,346
売上原価	17,379,453	16,534,548
売上総利益	4,681,971	4,363,798
営業収入	277,089	270,610
営業総利益	4,959,060	4,634,408
販売費及び一般管理費	4,816,783	4,668,857
営業利益又は営業損失(△)	142,277	△34,449
営業外収益		
受取利息	4,571	3,736
受取配当金	3,922	4,553
受取手数料	7,524	1,064
その他	10,091	9,624
営業外収益合計	26,109	18,978
営業外費用		
支払利息	49,407	46,804
その他	1,689	1,167
営業外費用合計	51,096	47,972
経常利益又は経常損失(△)	117,290	△63,443
特別利益		
固定資産売却益	—	8
固定資産受贈益	926	—
ポイント引当金戻入額	1,090	1,067
受取保険金	2,940	1,779
収用補償金	406	—
特別利益合計	5,363	2,855
特別損失		
減損損失	108,563	4,991
固定資産除却損	10,821	15,281
投資有価証券評価損	441	15
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	3,191
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,660
その他	775	253
特別損失合計	120,601	26,393
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	2,052	△86,981
法人税、住民税及び事業税	15,074	15,734
法人税等調整額	43,704	△35,372
法人税等合計	58,778	△19,637
四半期純損失(△)	△56,726	△67,344

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	2,052	△86,981
減価償却費	266,211	254,972
減損損失	108,563	4,991
投資有価証券評価損益 (△は益)	441	15
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△30,858
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,314	△3,567
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,141	△34,229
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54,000	△60,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,000	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,090	△1,067
受取利息及び受取配当金	△8,494	△8,290
支払利息	49,407	46,804
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△8
固定資産除却損	2,348	38,808
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,364	△823
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△157,017	△84,013
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,965	△26,225
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,301,403	1,263,863
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	135,966	152,444
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△7,229	△5,655
その他	1,440	11,763
小計	1,627,129	1,431,943
利息及び配当金の受取額	4,151	4,671
利息の支払額	△47,455	△44,553
法人税等の支払額	△20,575	△19,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,563,250	1,372,202
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△278,414	△159,465
有形固定資産の売却による収入	—	95
投資有価証券の取得による支出	△21,433	—
貸付けによる支出	△450	△1,720
貸付金の回収による収入	2,223	1,168
建設協力金の支払による支出	△4,329	△4,329
建設協力金の回収による収入	31,932	31,032
敷金及び保証金の差入による支出	△18,742	△21,067
敷金及び保証金の回収による収入	32,427	3,600
その他	7,654	△11,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249,132	△161,877

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△70,000	△385,000
長期借入れによる収入	400,000	1,027,000
長期借入金の返済による支出	△751,000	△720,000
リース債務の返済による支出	△9,215	△16,961
自己株式の処分による収入	—	63,546
自己株式の取得による支出	△675	△2,278
配当金の支払額	△34,860	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,751	△33,693
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	848,366	1,176,630
現金及び現金同等物の期首残高	872,397	859,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,720,764	2,035,817

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報
業績の推移

（百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	22,232	0.5	—	—	—	—	—	—
20年3月期第3四半期	21,895	△1.5	187	—	144	—	163	—
21年3月期第3四半期	22,808	—	293	—	258	—	155	—
22年3月期第3四半期	22,061	△3.3	142	△51.5	117	△54.6	△56	—
23年3月期第3四半期 （当第3四半期）	20,898	△5.3	△34	—	△63	—	△67	—
	2期連続の減収		2期連続の減益		2期連続の減益		3期連続の減益	

（注）平成20年3月期第1四半期より四半期財務・業績の概況を開示しているため、平成19年3月期第3四半期については、売上高を除いて業績を開示しておらず、平成20年3月期第3四半期については、売上高を除いて前年同四半期との比較数値は記載しておりません。また、平成21年3月期第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用し、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第3四半期については、前年同四半期との比較数値は記載しておりません。